

平成30年6月27日



広報資料

【問い合わせ先】

第一管区海上保安本部交通部
安全対策課長 植田 聖純
TEL 0134-27-0118 (内線 2640)

平成30年夏季の安全推進活動について

～海浜死亡事故を起こさせないために～

第一管区海上保安本部では、マリンレジャー活動が活発となる7月～8月の2ヶ月間を「夏季安全推進活動期間」とし、集中的に「遊泳者」や「釣り人」、「プレジャーボート愛好者」に対し、安全指導を実施します。

特に遊泳者については、昨年8月に一度に3名の高校生が遊泳中に亡くなる事故が発生したことから、教育機関と連携し、若年層に対する安全啓発・指導を強化するほか、本年度初めての取組みとして、小樽市沿岸在来のJR車内での安全啓発アナウンス放送やライフセーバーとの合同パトロールを行うなど、「遊泳者事故防止」に重点的に取り組みます。

1 夏季安全推進活動

第一管区海上保安本部では、マリンレジャー活動が活発となり、事故が多発する7月、8月を事故防止の重点期間として、集中的に海難防止活動を実施します。

(1) 期間

平成30年7月1日(日)から同年8月31日(金)

(2) 実施機関

第一管区海上保安本部

(3) 安全指導の内容

北海道内の各地において、遊泳者、釣り人、プレジャーボート運航者等のマリンレジャー愛好者に対して、重点的に次の事項について実施します。

① 遊泳者に対する安全指導

イ. 海水浴場内での遊泳推進

海水浴場以外の場所での遊泳事故が多く発生し、昨年も道内では海水浴場以外で6名が亡くなっていることから、安全管理が整っている海水浴場で遊泳するよう呼びかけます。

ロ. 飲酒遊泳の危険に関する周知

② 釣り人に対する安全指導

イ. ライフジャケットの着用推進

昨年釣りの事故者35名の約9割(32名)が海中転落で、海中転落者32名の約9割(27名)がライフジャケット未着用であり、そのうち13名の方が死亡していることから、海中転落防止とともに、ライフジャケットの着用を呼びかけます。

ロ. 複数行動の励行

単独行動による事故者も多く、通報の遅れが重大事故に発展する虞もあることから、複数行動の励行を呼びかけます。

③ プレジャーボート運航者に対する安全指導(水上オートバイ、ミニボートを含む。)

イ. 海水浴場付近等での安全運航

遊泳者の近くを航走しないことや周りの船舶の動静に注意し安全な速力で運転するよう呼びかけます。

ロ. 発航前点検と常時適切な見張りの励行

ハ. ミニボートの浸水・転覆及び衝突事故の防止

ニ. 最新の気象・海象情報の把握とライフジャケットの常時着用

(4) 活動予定

① 遊泳者に対する活動

関係機関と連携し様々な取組みを実施しますが、特に本年度重点的に取り組む遊泳者事故防止対策として、次のイからニの活動を計画しています。これらの活動は、いずれも本年度初めての取組みとなります。

イ. 安全啓発リーフレットの校内配布

小樽市、石狩市、札幌市の教育委員会及び北海道と連携し、同市内の小・中・高の児童・生徒を対象に、海での遊泳についての注意事項及び過去に遊泳事故発生した場所が掲載された安全啓発用リーフレットを夏休み前に配布していただく予定です。[資料1、資料2]

ロ. 海水浴の事故防止に備えた教育委員会への現地説明

教育委員会に対し、海水浴場以外での遊泳の危険性について認識してもらうため、事故現場等の海浜において、当庁職員による現場説明を行います。

特に、昨年、夏季における中・高校生による遊泳中事故は、札幌市在住者による事故が7割を占めています。

このため、札幌市の教育委員に対しては、去る5月29日に、銭函から小樽ドリームビーチまでの海浜において、現地説明を実施しました。

ハ. ライフセーバーとの合同パトロール

小樽海上保安部と小樽および札幌のライフセーバー関係者

との連携を強化するため、小樽及び石狩地区の沿岸において、遊泳者を対象とした合同パトロールを実施します。

ニ. J R 車内・駅構内における安全啓発アナウンス放送

J R 北海道の協力を得て、函館本線列車内及び駅構内において、海水浴場での遊泳や飲酒遊泳の危険性についてアナウンス放送を行います。

安全啓発のアナウンス放送は、7月14日（土）から8月19日（日）までの期間、午前9時から午後3時の間で銭函駅及び朝里駅に停車する普通列車及び快速列車内、小樽駅及び銭函駅の駅構内で実施予定です。

② 釣り人及びプレジャーボート運航者等に対する活動

海上保安官による岸壁や海岸等における巡回指導のほか、釣具店やマリナー関係者に対して事故防止啓発用リーフレットの配布依頼を行うなど、全道で安全活動を実施します。

③ その他全道各地の具体的活動例

道内各地におけるその他の主な活動予定については、**資料 3**のとおりです。

また、昨年に引き続き北海道日本ハムファイターズの協力を得て、海難防止啓発用ポスターを作製し、道内各地の「道の駅」や釣具店など内陸在住者にも目に付く場所に掲示して事故防止を呼びかけます。

※ 海の事故ゼロキャンペーン

上記の取組みのほか、全国的な取組みの一環として、「北海道地区海難防止強調運動推進連絡会議」構成員の各機関・団体と連携して、7月16日（月）から7月31日（火）まで「海の事故ゼロキャンペーン」を展開します。[資料 4：構成員]

具体的には、海事・水産関係の民間団体と国・地方公共団体の関係機関が一体となって、商船、漁船、プレジャーボート等の船舶に対して事故防止思想の普及活動を行います。

本キャンペーンの周知活動として、7月13日（金）に札幌駅前通地下広場において、海難防止啓発用リーフレット等の配布を行うほか、本年度初の取組みとして同広場設置の大型モニターを使用して、「海の安全情報」のデモンストレーションを実施予定です [資料 5]

約束を守り安全に遊びましょう【資料1】

しょうがくせい

小学生のみなさんへ！

- ❌ うみ はい まえ じゅんぴうんどう 海に入る前に準備運動をしましょう！
- ❌ ひとり うみ はい かなら おとな ひと あそ 一人で海に入らず、必ず大人の人と遊びましょう
- ❌ うみ きゆう ふか あし つ ばしょ 海には急に深くなって足が着かない場所があります
- ❌ う わ なが むり 浮き輪やビーチボールが流されても、無理にとりにいかないようにしましょう。



海水浴場以外で泳ぐのは危険です！

保護者の皆さんへ！

- ❌ 海水浴場以外の場所は、監視員やライフセーバー等が配置されていないため、事故の発見や救助の遅れに繋がる恐れがあります。
遠浅に見える海岸でも急激に深くなる場所があったり、波や潮流の影響で海底地形が日々変化し易く、離岸流が発生しやすい場所があるなど、遊泳に適さない場所もあります。
遊泳をする時は、事前に監視員の置かれている海水浴場であるか確認し、監視員等が配置されている海水浴場で行いましょう。
- ❌ 飲酒をすると、注意力や判断力、さらには運動機能が低下し、場合によっては溺れる可能性があり、非常に危険です。
飲酒後は絶対に海に入らないようにしましょう。
- ❌ 海では、風が急に強くなったり、波が急に高くなる等、天候が急激に変化する場合があります。
事前に気象・海象情報を確認するとともに、最新の気象情報入手し、天候が急変した場合は無理をしないようにしましょう。



スマホサイト

海の安全情報

携帯サイト



海の緊急ダイヤル

118番

平成30年度夏季安全推進活動

【資料3】

第一管区海上保安本部

実施日	場所	対象者	活動内容	担当部署等
6月28日	札幌市第二水産ビル	教育関係者	遊泳中の事故未然防止講話	小樽海上保安部
6月29日	小樽どりーむビーチ	海水浴客	海開きに伴う安全講話	小樽海上保安部
7月7日	石狩浜海水浴場	海水浴客	海開きに伴う安全講話	小樽海上保安部
7月10日	小樽商科大学	留学生	留学生に対する安全教室	小樽海上保安部 (小樽警察署主催)
7月14日	神威岬灯台	一般市民	神威岬灯台一般公開に伴う安全啓発活動	小樽海上保安部
7月15日	小樽港マリーナ等	一般市民	マリIFESTA小樽での海難防止啓発活動	小樽海上保安部
7月16日	函館港豊川ふ頭	一般市民	函館新聞花火大会に併せ、大会本部に海難防止啓発ポスターの掲示及び一般市民等リーフレットを配布し、海難防止啓発活動を実施	函館海上保安部
7月16日	チキリ岬灯台	一般市民	チキリ岬灯台一般公開に伴い、来場者に対し海難防止啓発を実施	室蘭海上保安部
7月18日	せたな町	中学生	遊泳事故防止を目的とした海上安全教室	瀬棚海上保安署
7月19日	厚真町	小学生	遊泳事故防止を目的とした海上安全教室	苫小牧海上保安署
7月中旬	江差町	小中学生	遊泳事故防止を目的とした海上安全教室	江差海上保安署
7月22日	七重浜海水浴場及び周辺海岸	プレジャーボート	運輸局等との遵守事項合同パトロール	函館海上保安部
7月22日	石狩浜周辺海水浴場及び周辺海岸	プレジャーボート	運輸局等との遵守事項合同パトロール	小樽海上保安部
7月26日	石狩湾港	プレジャーボート	海上安全指導員合同パトロール及び出動式	小樽海上保安部 MPS開所式
7月29日	巡視船れぶん	一般市民	一般公開に伴い、見学者に対する海難防止活動を実施	稚内保安部
7月31日	釧路市	一般市民	釧路市民球場において観戦者等に対する海難防止活動	釧路保安部 13:00～日本ハム対ロッテマリーンズ
7月下旬 ～8月中旬	湧別町三里浜キャンプ場	マリンレジャー愛好者等	釣り人やマリンレジャー客等への安全指導を実施	網走保安署
8月5日	余市港	釣り愛好者	釣り大会に伴う、安全講習及び啓発活動	小樽海上保安部
8月5日	稚内市	一般市民	「稚内みなの南極まつり」に併せて、海難防止啓発活動を実施	稚内保安部
8月11日 or12日	浦河港	一般市民等	浦河港まつり体験航海に伴い、リーフレット等の配布による啓発活動	浦河保安署

詳細については、各海上保安部にお問い合わせください

北海道地区海難防止強調運動推進連絡会議
構成員一覧（順不同）

北海道運輸局

第一管区海上保安本部

札幌管区気象台

函館地方海難審判所

運輸安全委員会事務局函館事務所

北海道総合通信局

北海道

札幌市

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター

北海道船主協会連合会

一般社団法人 全国船舶無線協会北海道支部

北海道機船漁業協同組合連合会

NPO法人 パーソナルウォータークラフト安全協会北海道地方本部

日本ライフセービング協会北海道支部

北海道スキューバダイビング安全対策連絡協議会

全日本海員組合北海道地方支部

北海道漁業協同組合連合会

北海道旅客船協会

一般財団法人 日本海洋レジャー安全・振興協会北海道事務所

公益社団法人 北海道海事広報協会

公益社団法人 日本海洋少年団北海道連盟

日本小型船舶検査機構札幌支部

一般社団法人 日本マリン事業協会北海道支部

北海道漁業無線連合会

北海道船用工業会

公益財団法人 海上保安協会北海道地方本部

札幌駅前通地下広場海難防止PR活動

海の事故防止活動の一環として関係省庁及び海事関係者、マリンレジャー関係者が一体となって、札幌駅前通地下広場において海難防止啓発イベントの開催を予定しております。

1 実施日時

平成30年7月13日（金）15：00～18：00

2 実施場所

札幌駅前通地下広場 北2条広場

3 参加予定機関

第一管区海上保安本部、北海道総合通信局、北海道運輸局、札幌管区気象台、北海道、（公社）北海道海難防止・水難救済センター、日本小型船舶検査機構札幌支部

4 PR活動の概要

札幌駅前通地下広場を通行する歩行者に対し、啓発活動を実施します。

- (1) 大型ビジョンを使用した「海の安全情報」デモンストレーション
- (2) 海難防止ポスター掲示、啓発ビデオの放映、リーフレット等の配布
- (3) ライフジャケット試着

海難防止PR活動案内図

